

訪 問 販 売

株式会社イトーヨーカ堂による訪問販売サービス

～ 小 売 業 に よ る 新 た な 販 売 サ ー ビ ス の 展 開 ～

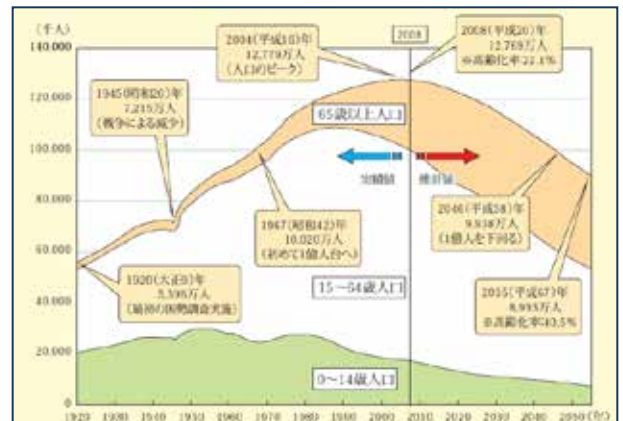
1 概 要

(株)イトーヨーカ堂では、老人介護施設を訪問し、施設内の食堂やホールなどに“イトーヨーカドーの売場”を設けて施設内の方に買い物を楽しんでもらう「ふれあいショッピング」を実施している。販売する商品は、イトーヨーカドーの店舗で取り扱っている商品(生鮮食品、お酒、たばこなどを除く)を用意し、当日の店頭価格と同じ値段で販売している。開催頻度としては、衣料品を中心に販売する場合は年に3回～4回、食品を中心に販売する場合は月1回程度実施している。

2 背景ときっかけ

イトーヨーカドーは老人介護施設などに入居している方々に買い物をする機会を提供するために、「ふれあいショッピング」を2004年3月から開始した。「ふれあいショッピング」は施設のオーナーや介護スタッフの方から「ご入居者に『自分で商品を見て、欲しいものを選ぶ』というお買い物の楽しさを味わってもらいたい」という要望に基づき、施設内に“イトーヨーカドーの売り場”を設置する販売形態としている。2009年は78店舗が、260カ所の老人介護施設で、延べ1,036回の「ふれあいショッピング」を実施している。

■ 我が国の人口の推移と見通し



資料: 少子化社会白書 (H21年版)

注1: 実績値 (1920～2008年) は総務省「国勢調査」, 「人口推計 (各年10月1日現在推計人口)」, 推計値 (2009～2055年) は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 (平成18年12月推計)」の中心推計による。

注2: 1941～1943年は、1940年と1944年の年齢3区分別人口を中間補間した。1946～1971年は沖縄県を含まない。

3 取組の内容

実施地区: 全国のイトーヨーカドー店舗の近隣地区

販売商品: 生鮮食品(肉や魚など)、お酒、タバコを除く店舗で扱っている商品

販売商品は事前に要望を聞いて選択

開催頻度: 衣料品を中心に販売する場合は年3～4回

食品を中心に販売する場合は月1回程度の開催

4 取組の効果

- 自分で商品を見て手に取り選べるという買い物の楽しさを提供している。
- 入居中の買い物という楽しみが増えて施設内の活性化につながった。
- 施設の外に出ることがないので安心して買い物を楽しめている。
- 入居者だけでなく、介護スタッフが行う買い物の回数が減り不便を解消している。

5 取組上の工夫

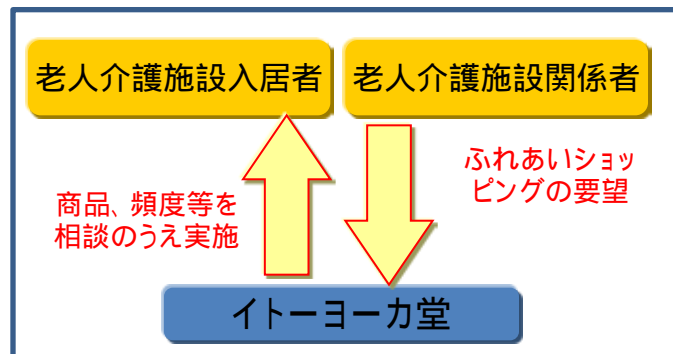
- 実施店舗の拡大、実施回数の増加、施設の入居者の方の声をもとにした商品の入れ替えなどに積極的に取組み、売上を増加させるよう努めている。
- 一部の店では、月1回の「ふれあいショッピング」に加え、週1回程度食品を中心に買い物代行サービスも実施している。

6 今後の展望

- 実施店舗数や対象施設数、実施頻度を見直しながら社会貢献と経済性の両立を図っていく。
- 入居者の方の声をもとにした商品の入れ替えなどを行い、喜んで頂ける取組を継続していく。

7 参 考

【事業のイメージ】



【ふれあいショッピング開催様子】

【セブン＆アイHLDGS社会・文化貢献活動基本方針】

社会・文化貢献活動基本方針

(株)セブン＆アイ・ホールディングス、その事業会社及び関係会社は、企業行動指針の精神にそって、地域社会、国際社会との連携と協調を図り、良好な関係を維持することにより、地域社会、国際社会の一員として、社会・文化貢献活動を社会的責任の一つとして捉え、積極的に平和で豊かな生活環境作りを支援していきます。

社会・文化貢献活動行動指針

(株)セブン＆アイ・ホールディングス、その事業会社及び関係会社は、「社会・文化貢献活動の基本方針」にそって、社会・文化貢献活動の重点領域及び活動方針を定め、社会的な課題の解決に向けて、積極的に持続可能な社会づくりを支援します。

重点領域

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 未来の社会をつくる子どもたちや青少年の支援 | 4. 文化芸術・スポーツ振興の継承と発展 |
| 2. 誰もが暮らしやすい安全で安心な地域社会づくりの支援 | 5. 国際的な貧困の撲滅 |
| 3. 地域環境・地球環境の保全 | 6. 国際交流・協力 |
| | 7. 災害支援 |

【問い合わせ先】

株式会社イトーヨーカ堂
住所：東京都千代田区二番町8番地8
電話：03-6238-2111(代表)